

日本商工会議所青年部

令和2年度日本ネットワーク委員会415事業

日本YEG都道府県別415単会会長とのWEB懇談会

議事録

開催日	令和2年6月1日	時間	18:00 ~ 19:00
連合会名	東 地区	関東 ブロック	神奈川 県連
出席単会名	厚木・海老名・小田原箱根・鎌倉・茅ヶ崎・秦野・平塚・藤沢・三浦・相模原・大和・横須賀・横浜		
出席者数	20名 +NWオブザーバー		
コロナ禍における 貴単会の 現在の状況・取組み	厚木	6/1よりクラウドファンディングを実施。	
	海老名	マスクや防護服を寄付するなどの企画をしている。FBページで飲食店応援企画を実施。	
	小田原箱根	緊急アンケートをメンバー対象に実施→来週、親会に提出。コロナ後を意識して観光地なので街の清掃活動をしている。メンバーの様子を役員で聞き取りしている。単会版活動ガイドラインを親会に上程予定。	
	相模原	飲食店向けに単会内でカンパを実施。コロナ禍に対しての活動啓発動画の作成。	
	【会長所見】	特別警戒地域ならではの緊張感を感じた。ガイドラインなどがあれば日本でも共有したい。	
	茅ヶ崎	6月末か7月頭に改めてキックオフパーティーを行う。	
	平塚	withコロナ、アフターコロナでの取組を模索中。クラウドファンディングを実施→1600万集まった。未来チケット事業実施→飲食店と26万のやり取り。役員がメンバーに状況を聞き取り。	
	鎌倉	6月から委員会活動再開。年間スケジュールを練り直している。	
	【会長所見】	活動のキリを見定めている印象がある。地域の声を集めて国にあげていきたい。	
	藤沢	藤沢応援プロジェクト(業種問わず)。緊急提言をまとめ、6月に上程予定。藤沢ありがとう弁当プロジェクト→医療関係者に医師会を通じて210食を配布。Tシャツ販売→差額収益を飲食店に寄付。8月以降は加盟店に来ていくとサービス有。	
	三浦	例会としてズーム勉強会、例会の終わりにメンバーの金融機関関係者を中心に融資相談会の開催。今後、対面とWEB会議の併用をしていく。	
	横須賀	三役会、役員会、委員会は7月より通常予定。飲食店メンバーが多い→『ノート』アプリで情報発信。年会費の削減36,000円/年→27,000円/年	

	横浜	活動は完全ストップ。総会も未開催。もともと活動頻度も低い。世の中の空気として飲食を伴う集まりを開くことに抵抗がある。
	【会長所見】	不可逆的な変化の時。これからはWEB会議なども活用していかななくてはならない。年会費の問題も全国的に大きな課題。
	大木プロ代	関東の取り組み、情報発信を文章に加えて動画なども併せて活用している。
	篠島県連会長	現在は全てATやWEB会議など。6月末には皆さんと顔を合わせて話がしたい。
	秦野	献血活動への協力。これまでは全ての活動を停止しているものの今後は段階をおって活動していく。
米良会長、全国の単会会長と共有したい問題、悩みなど	厚木	コロナ後の回復が不安。日商、政府に対して提言して欲しい。中小企業への道しるべを。
	米良会長	コロナ禍は数々の諸問題を早送りして突き付けられた形。日本、ブロック、県、単会、それぞれの役割を果たしていく。日本として出来ることは先頭を切ってやっていく。お互いに補完しながらやっしていこう。
	鎌倉	協力金、家賃補助などあるが迅速さが足りない。申請が煩雑。
まとめ	米良会長	人間同士が面前でミリ単位・秒単位のシンクロをしているとき、組織として生産性が高くなっている。今後、会えるようになったら喜びを実感したい。今回の懇談会はこれから会えるようになった時の助走である。